

三井化学、IBM Watson による新規用途探索の全社実用をスタート ビッグデータと AI の活用で営業 DX を推進

三井化学株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：橋本修、以下 三井化学）と日本アイ・ビー・エム株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：山口明夫、以下、日本 IBM）は、2022 年 6 月から、三井化学グループ全社で IBM の AI である IBM[®] Watson を実装し、ニュース・SNS・特許といった外部のビッグデータも活用して、三井化学製品の新規用途探索の実用を開始しました。本取り組みは、三井化学における、営業領域のデジタル・トランスフォーメーション（DX）を推進することで、製品のトップライン（売り上げ）やシェアの拡大を目指すものです。

昨今、世の中には、新聞や雑誌などのニュースや記事、SNS や WEB サイトなどの消費者の声、そして、特許や論文などの専門情報といった、大量の情報・データが溢れています。しかし、三井化学の営業現場では、これらのビッグデータを十分には活用できていませんでした。また、消費者や製品メーカーのニーズやベネフィットは、材料・素材の機能専門用語とは異なるため、これら結び付けて営業・マーケティングに活用するのは容易ではありませんでした。

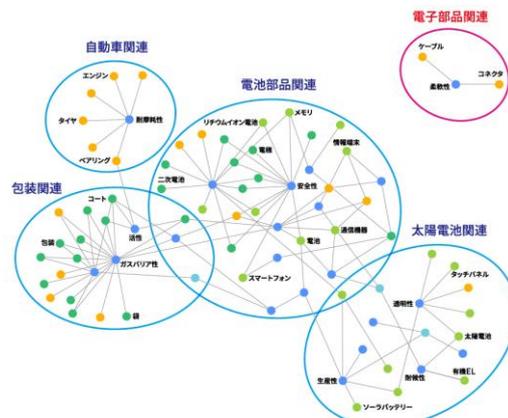
このたび、日本 IBM の協力のもと、IBM の AI である Watson に搭載された、自然言語処理能力やテキストマイニングの技術で、ニュース・SNS・特許などの多様かつ大規模な情報やデータを検索し、効率的に、かつ、複合的に分析することが可能になりました。

具体的には、三井化学の営業現場では、材料・素材の機能専門用語から、消費者の声や特許等のデータとの相関を分析して、消費者や製品メーカーのニーズやベネフィットと結び付けることで、新しい用途のブレインストーミングとなり、これまでの勘・コツ・経験に基づいた発想を超えて、新しい業界や分野へ、根拠に基づく提案型の営業・マーケティング活動を進められています。

これまでに、三井化学では、4 つの事業本部および新事業において、実証実験(PoC)を繰り返してきました。この実証実験の中で、製品機能特性の深掘り、ビッグデータ抽出条件の最適化、固有辞書の構築、運用方法の確立などの開発を、アジャイルに進めてきました。

その結果、例えば食品包材に使われている A 材料が別用途として電子部品部材にも使える、建築材料に使われている B 材料が衛生用途にも使える、あるいは、半導体関連に使われている C 材料が調理設備にも使える、といった多くの新市場・新用途の発見が可能となりました。

次のステップでは、マテリアルズ・インフォマティクス（MI）と連動させることで、市場開発から製品開発までのスピード加速を実現していきます。今後も、三井化学は、先端デジタル技術を活用し、新しい事業 DX・営業 DX ヘチャレンジしていきます。



包装材料に使われる A 材料の機能特性に関するネットワーク相関図

<三井化学 常務執行役員 CDO 三瓶 雅夫>

今回の取り組みはAIの活用によって、トップラインを上げる、マーケットシェアを拡大することを目的としております。特許やニュース、SNS等の外部情報を活用して、自社固有の辞書を構築し、様々な材料・素材における新規用途を開拓します。これにより人間の先入観にとらわれない、既知の知見を超えた、材料・素材の用途探索におけるイノベーションを実現します。

IBM Watson について

Watsonは、ビジネスのためのIBMのAIテクノロジーで、組織による将来的な結果のよりの確な予測と形成、複雑なプロセスの自動化、従業員の時間の最適化を支援します。Watsonは、IBM Researchのプロジェクトから、実験へ、そしてどこでも稼働する拡張された一連のオープンな製品へと進化しています。4万件を超えるお客様のエンゲージメントを有するWatsonは、人々の働き方の変革を目的として、さまざまな業界の主要なグローバル・ブランドに利用されています。詳細については、<https://www.ibm.com/jp-ja/watson> をご覧ください。

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、IBM Watson は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp.の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、[https://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml\(US\)](https://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml(US)) をご覧ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部

(TEL : 03-6253-2100、お問合せフォーム : https://form.mitsuichemicals.com/corporate/cc_pr_csr_ja)

日本アイ・ビー・エム株式会社 広報担当 : 一ノ瀬 (TEL:03-3808-5120)